

2017 年度

アメリカ留学報告書

実習先：セントラル・ミズーリ州立大学

実習期間：8月23日（水）～12月9日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016124
山本 美咲

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	研修日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：セントラル・ミズーリ州立大学 Intensive English Program クラス

研修期間：平成 29 年 8 月 23 日（水）～平成 29 年 12 月 8 日（金）

※帰国は 12 月 9 日（土）

2 研修先概要

(1)大学について

セントラル・ミズーリ州立大学は、カンザスシティから約 80 キロ離れたミズーリ州のウォレンズバーグ市に位置する。1871 年に創立された歴史のある大学である。地元の学生だけでなく、他の州から来た学生や、57 か国からの留学生がこの大学で学んでおり、およそ一万人の学生が在籍している。学部はたくさんあり、その中でも航空学が有名である。パイロットを目指して、この大学に留学する学生も多い。施設もとても充実している。3 階まである大きな図書館、ボーリング場、シアター、アメリカンフットボールのスタジアム、カフェなどたくさんある。大学のマスコットはミュール。大学のテーマカラーは赤である。

(2)大学で行われている教育について

セントラル・ミズーリ州立大学は、IEP (Intensive English Program) という、英語を母国語としない留学生に英語の授業を行うプログラムがある。最初にクラス分けテストを行い、その点数でレベル別に 4 つのクラスに分けられる。そのため、同じレベルの生徒と切磋琢磨しながら、と自分にあったレベルの授業を受けることができる。

英語の授業だけでなく、アメリカの歴史、文化、日米関係の授業もある。校外授業として、メジャーリーグを見に行ったり、Thanksgiving の食事会を開いたり、ミズーリ州の都市に行ったりもして、アメリカの文化を実際に触れることも出来た。

3 研修目的

今回の留学の目的は 2 つある。1 つは英語力の向上、また、TOEIC のスコアアップである。日本での英語の勉強と、英語を母国とするアメリカで英語を学ぶのでは全く違う。英語を母国とする友達と英語で会話することによって、ネイティブの英語の発音に慣れることができたり、日本では学べない会話表現などを学んだりすることができる。また、毎日英語を話し、英語をどうしても聞き取らないといけない状況にすることで、効率よく英語を身に着けることが出来る。それは、TOEIC のスコアアップにもつながる。現在 TOEIC は就職活動の際に重要視している企業が多い。今回の留学で英語力を向上させ、履歴書に書けるスコア 600 点以上を目指す。

もう 1 つは異文化理解である。今回の留学以前に海外に行ったことがなかったため、他の国の文化を学ぶ絶好の機会であった。本やテレビでも海外の文化が特集されていることがあるが、実際に直接肌で触れてみないと分からないことがたくさんある。アメリカに行く

ことで、アメリカでは日本の文化との違いを直接感じる事が出来るだけでなく、客観的に、日本の文化を見ることが出来る。ただ英語を学ぶだけではなく、アメリカの文化や、日本の文化と違う点などたくさんの発見をしていくことを目標とする。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	火	水	木	金
Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills	No class
Writing	Grammar	Writing	Grammar	
Lunch break				
Accent Reduction	American Culture	Accent Reduction	American Culture	
American History	US and Japan Relations	Writing Lab	Grammar lab	
TOEIC Preparation		TOEIC Preparation		

月	日 (曜日)	午前	午後
8	23 (水)		到着、入寮
	24 (木)	オリエンテーション、採血	
	25 (金)	クラス分けテスト	ボーリングパーティー
	28 (月)	Session 1 授業開始	
	31 (木)		アメフトの試合
9	10 (日)		メジャーリーグ観戦
	22 (金)	Jefferson City	
10	7 (土)	JAPAN Festival	
	9 (月)	Session 2 授業開始	

	14 (土)	Homecoming	
11	11 (土)	Food Show	
	17 (金) ～ 26 (日)	Thanksgiving Break	
12	4 (月)	Final	
	5 (火)		
	6 (水)	Awards Ceremony	
12	7 (木)	TOEIC 受験	
	8 (金)	出発	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

1) Reading

Session1 では教科書の文章、Session2 では少し長めの英語の小説を読むという授業であった。いくつかのグループに分かれて、その文章についての個人の感想や見解を話し合い、発表するということがあった。最後の授業では、授業時に読んでいた小説を実写化した映画を見て、原作と映画での違いを探した。また、毎週、新出単語の小テストがあった。

2) Writing

APA スタイルでのエッセイの書き方を学んだ。また、個人でテーマを決め、それについて授業で習った正しい APA スタイルでエッセイを書き上げた。授業時にペアを作り、書き上げたエッセイを交換し、お互いアドバイスをした。

3) Communication Skills

プレゼンテーションの方法を学んだ。Midterm exam では2～3人でのグループプレゼンテーション、Final exam では個人でのプレゼンテーションを行った。グループプレゼンテーションの準備の際、必要に応じて、放課後集まって準備をするということもあった。毎週宿題には、10分ほどの英語の講義の音源がメールで送られてきて、それを聞いてメモをするノートテイキングが出された。リスニング力と英語での会話力がかなり重要になってくる授業である。

4) Grammar

英文法の授業。授業時にグループを作って、習った文法を使って会話をしたり、プレゼンテーションをしたりした。

5) Accent Reduction

英語の発音を良くする授業であった。4つのクラスに分かれた。特に r、l、v、t h の発音に重点をおいて練習した。発音に気を付けながら、会話したり、ゲームをしたりした。

6) American History

教科書や絵本を使ってアメリカの歴史について学んだ。グループごとにアメリカの歴史に関係のあるお話の絵本を読んで、そこから学んだことをプレゼンテーションした。また、ハロウインが近くなった頃にはカボチャに絵を描いたり、スモアを焼いたりした。

7) TOEIC Preparation

TOEIC の過去問を解き、みんなで答え合わせをして、なぜ答えがそうなるのかを話し合ったりした。また、解くときの戦略を習った。

8) American Culture

アメリカの行事 (ハロウイン、Thanksgiving) について各自調べてプレゼンをした。また、時々バスに乗って校外学習もした。メジャーリーグを見に行ったり、ミズーリ州の都市に行ったり、カボチャ畑に行ったりした。

9) US and Japan Relations

文化、福祉、芸術などの日本とアメリカの違いを調べて、プレゼンをした。また、カンザスシティで開催された Japan Festival に行き、アメリカでは日本という国はどのように見られているのかを勉強してきた。

10)オリエンテーション

オリエンテーションでは、キャンパス案内、Wi-Fi 接続、採血があった。また、これからの4か月の流れの説明もあった。

11)クラス分けテスト

文法、読解、リスニングのペーパーテストがあった。このテストの点数を参考に4つのクラスに分かれた。

12)ボーリングパーティー

IEP の授業を受ける生徒と IEP の先生方と一緒に学校の中にあるボーリング場でボーリングをした。

13)アメフトの試合

キャンパス内にあるアメフトのスタジアムでアメフトの試合の観戦をした。スタジアム全体が学校のカラーである赤色に染まっていた。キャンパス内に出店が並び、近所の人もたくさん来ていて、お祭りのような雰囲気であった。

14) メジャーリーグ観戦

カンザスシティにあるスタジアムに行って観戦した。カンザスシティのメジャーリーグのチームである Royals の試合を見た。

15) Jefferson City

ミズーリ州の都市であるジェファーソンシティに行った。そこで、会議場見学や、ピクニックをした。

16) Japan Festival

カンザスシティで開催された。お好み焼きや牛丼といった日本食が食べられたり、日本のお菓子の販売がされていたり、茶道、日本の絵など日本のあらゆるものが展示されていたりした。

17) Homecoming

パレードに参加をした。浴衣を着て、国旗を持ってキャンパス内と大学の近くを歩いた。他の国の留学生も母国の伝統衣装を着て、国旗を持って一緒に歩いた。そのパレードを見るためにたくさんの方が来てくれた。パレード以外にもキャンパス内でアメフトの試合などたくさん行事があった。

18) Food Show

学校の食堂のキッチンを借りて、日本の料理（焼きおにぎり、大学芋、漬物、お好み焼きなど）を作って、みんなに振る舞った。他にサウジアラビア、カナダ、韓国、パキスタン、インドの留学生も料理を振る舞っていた。

19) Thanksgiving

感謝祭のこと。アメリカでの大事な休日。お家にお邪魔して、夕食をごちそうになった。Thanksgiving では七面鳥を食べるお家が多い。また、学校が10日間お休みになり、この休みを利用して多くの方が旅行に出かけた。

20) Final

Reading、Writing、Communication Skills、Grammar の最終テストが行われた。

21) Awards Ceremony

修了式。正装をした。IEP の授業を受けていた生徒や先生のスピーチや、修了証書授与があった。また、クラスメートや先生方とお別れの挨拶をしたり、写真をとったりした。

22) TOEIC 受験

留学の成果をみるために、留学最終日に学校で TOEIC を受験した。この結果は後日 NUIS に届けられた。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

1)リスニング力を上げること

もともとリスニングは大の苦手で、英検や TOEIC でもリスニングパートがかなり足を引っ張っていた。NUIS の英語の授業でも、先生の英語を聞き取ることが非常に困難であった。留学が始まってからもなかなか聞き取れるようになれなかったが、留学が半分過ぎたころから徐々に聞き取れるようになり、先生や友達と英語で会話できるようになった。留学最終日に受けた TOEIC は前回と比べて、リスニングパートだけで 105 点伸ばすことができた。4 か月の成果が表れたと言える。帰国後もリスニング力を落とさないよう、音読や、シャドーイングをしたりする必要がある。

2)英語での会話力

留学前半ではとっさに話したいことを英語で言うことが出来ず、授業のディスカッションでも意見が言えないことが多々あった。しかし、留学が終わるころには友達と英語で会話できるようになり、留学最終日に **Conversation Partner** が英語上達したねと言ってくれた。この留学で得た成果を無駄にしないよう、できるだけ毎日英語に触れるようにしたい。

3)異文化理解

海外に行ったのは今回の留学が初めてであった。海を越えるとこれほど文化が異なるということを実感した。4 か月アメリカに留学したことで、アメリカの文化を学んだだけではなく、日本の文化の良い面と、日本がアメリカの文化を見習わなければならないという面も発見することができた。これは、日本で勉強するだけでは発見できなかった知識である。日本とアメリカの文化は異なる点が多く、戸惑うことも多かったが、日本では経験出来ないとても貴重な経験になった。

6 反省・課題

この4か月の留学で英語力を伸ばすことができ、文化の違いを実感したり、海外の友達を作

ることができたりなど、日本では出来ない貴重な経験をたくさんすることができた。また、こんなにも長い間親元を離れたのは初めてであった。勉強以外の点でも成長することが出来た留学であった。今回の留学で得たものを無駄にしないよう、これからも英語の勉強を続けていきたい。

謝辞

今回、セントラル・ミズーリ州立大学 **Intensive English Program** にて懇切丁寧な指導をしてくださった **Valerie Heming** さん、**Jill Thomas** さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学のアメリカ留学担当で 2017 年度前期の授業、アメリカ留学の現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、藤本直生先生、矢口裕子先生、小林伊織先生、佐藤泰子先生には心より感謝いたします。最後に、本新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本セミナー参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

8月22日(火) ～ 8月23日(水)
担当 矢口裕子先生
内容 8月22日 ・10:30 新潟駅集合 ・夜泊まる成田空港近くのホテルまで 20 人で一緒にバスで移動 ・ホテルで先生、全員と合流 ・一晚ホテルに泊まる 8月23日 ・ホテルから成田空港までバスで移動 ・成田空港からダラス・フォートワース空港まで飛行機で移動 ・ダラス・フォートワース空港で入国審査 ・ダラス・フォートワース空港からカンザスシティまで飛行機で移動

・カンザスシティーから学校までお迎えのバスで移動

移動の所感

移動は大変疲れるものであった。フライト時間は乗り継ぎも含めて約 15 時間。成田空港からアメリカの学校までは 1 日以上かかった。また、アメリカは日本よりも 14 時間遅いので、日本を出発した 23 日は 24 時間以上あり混乱した。

8 月 28 日 (月)

内容

- ・クラス発表
- ・授業開始

具体的内容および所感

他の人達より NUIS の生徒だけ約 2 週間遅れて授業開始だった。授業が始まる前にクラス発表があり、それぞれ自分のクラスに行き、授業を受けた。初めての授業からクラスのみなどと一緒にディスカッションをしたり、エッセイを書いたりした。とてもハードだった。一日でも早く授業についていけるようになるために、積極的に授業に参加しなければならなかったと感じた。

8 月 31 日 (木) 午後

内容

キャンパス内にあるスタジアムで、学校のチームのアメフトの試合観戦

具体的内容および所感

アメリカではフットボールがとても人気で試合があるととても盛り上がる。この日は学校のスタジアムで学校のアメフトチームの試合があり、学校の生徒だけではなく、近所の人や、親子連れも来ていた。ほとんどの人が UCM (セントラル・ミズーリ州立大学) カラーの赤色の服を着ていたため、スタジアムの観客席は統一感があった。ゲームは UCM が勝ち、とても盛り上がった。また、キャンパス内には出店のようなものが並び、お祭りのようであった。くじ引きでカップが当たった。

9 月 23 日 (土)

内容

- ・Kansas city へ行く

- ・前半は美術館
- ・後半はプラザでお買い物

具体的内容および所感

International Students Organization の行事で Activity Buddy と一緒にカンザスシティに行った。カンザスシティは、学校からバスで1時間ほどかかった。最初に美術館へ行った。様々な国の美術品が飾られていた。もちろん日本の美術品もあった。次にショッピング街のプラザに行き、ショッピングを楽しんだ。店がたくさんあり、1日では回りきれないほどだった。この1日で Activity Buddy との距離も縮まった。

11月20日(月)～11月24日(金)
Thanksgiving Break シカゴ旅行
内容
11月20日
・ウォレンズバーグからシカゴまでアムトラックで移動
11月21～23日
・水族館、美術館、ミュージカル、ミレニウムパーク、ショッピングモールなどを観光
11月24日
・シカゴからウォレンズバーグまでアムトラックで移動

具体的内容および所感

Thanksgiving で学校が10日間お休みになった。NUIS の友達3人でシカゴに旅行した。ウォレンズバーグからシカゴまでアムトラック(電車のようなもの)で約10時間かかり、移動で一日つぶれた。シカゴはとても都会で高層ビルが多く、人も多かった。大きな湖が近く、UCMがあるウォレンズバーグよりもっと寒かった。

3日間観光し、シカゴを堪能することが出来た。夜、夜景がものすごく綺麗だったのが忘れられない。

日本人3人だけでアメリカの都会を旅行するのに最初は少し不安があった。しかし、電車の乗り換えやホテルのチェックイン、チェックアウトなど無事に全部自分たちですることが出来たので、自信につながったし、良い経験になった。



12月6日（水）

Awards Ceremony

内容

- ・ IEP の先生方のスピーチ
- ・ 代表生徒によるスピーチ
- ・ 修了証書授与

具体的内容および所感

IEP の先生から一人ひとり手渡しで修了証書を受け取った。それぞれのクラスの代表生徒によるスピーチや、抽選会などの楽しい時間もあった。フルーツなどのちょっとした軽食も出た。Awards Ceremony には正装をして出席した。記念品として T シャツがもらえた。

クラスメートや IEP の先生方と会えるのはこの日が最後であった。式が終わった後、クラスメートや、先生方とおしゃべりしたり、写真を撮ったりした。全員が別れを惜しんでいた。

